



春の日を浴びてウメの白い花がきれいに咲いていました。萼が赤くておめでたい色合いです。その下を見るとスイセンの花の白と黄色が目に入りました。春を実感します。右: タチツボスミレのロゼットが大きくなってきました。



ソメイヨシノ花芽膨らむ

花芽の頂は芽鱗の間が伸びてきて丸く見え敵増した。←は、葉の芽です。ソメイヨシノは花が先に開きます。



スイセン

外側に3枚ずつ花びらと萼が交互に並んでいます。黄色いカップのような部分も花びらの一つで、その中に、6本の雄しべとめしべがあります。



ハクセキレイ

尾を振って歩く姿をよく見かけますが、偶然、脚を体につけて飛ぶ姿が撮れました。



カメムシの死体

ソメイヨシノの枝に付いていました。クモの巣に捕まったカメムシです。外来種のミナミアオカメムシのようです。



ツグミ

今年の冬はやってくるのが遅く、師走に入ってから見ました。例年、北へ帰るのはゴールデンウィークあたりです。今年はどうでしょうか？



モグラ塚

ダムの斜面の外れ辺りで、モグラのトンネルの痕跡がありました。彼らは草の根の周りにはいる土壌生物を餌として暮らしています。



コゲラ

つつかれていますのは外来種
のムネアカハラビロカマキ
リの卵です。このカマキリ
は枝の高い場所に産むので
コゲラの格好の獲物になっ
ていました。



シダレヤナギの 冬芽が膨らむ

枝が下がっている
ので下を向
いています。冬芽
を包む芽鱗は1枚
で、袋状です。膨
らんだ新芽には
細かい毛が生え
ていました。



ヤマモモ雄株

雄花が葉の根元からせり上
がってきました。3月末頃には
雄花から花粉がます。その頃
雌の木には雌花が開きます。



ミコアイサ1羽のみ

ホシハジロやキンクロハジ
ロに混ざっていました。冠羽
が立って凜々しくなってい
ます。冬鳥の姿が見られるの
もあとわずかになりました。



左:ミサゴ、右:カラス

翅を広げるとカラスの2倍以
上はあるミサゴが、カラスに
追われていました。いつもは
ミサゴには目もくれないの
に営巣の時期を迎え気が立
っているのでしょうか。

植物 フサザキスイセン、ニホンタンポポ、ハコベ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ミチタネツケバ
ナ、ヨモギ伸びる、スイバ赤いロゼット、タチツボスミレのロゼット、セイヨウカラシナ、伸び始めたヤエム
グラ、カラスウリ実の赤い殻、ガマの実はぜる、サザンカ、ウメ、ハンノキ雌花、オオバヤシャブシ雄花蕾、
ソメイヨシノ花芽膨らむ、シダレヤナギ冬芽膨らむ、ノイバラ葉が開く、ヤマモモ雄花膨らむ、ヒマラヤスギ
から落ちた実(シーダーローズ) (羊歯) フユノハナワラビ、**昆虫** シロテンエダシヤク、クモの巣に捕まっ
たカメムシ死体、アブラゼミ羽化殻、(虫こぶ) コナラにあったイガイガ・仮名コナラメムレマツカサフシ、
鳥・その他 (愛知池) トビ、ミサゴ、ホオジロおす、ヒバリ囀り、ハクセキレイ、ハシボソガラス、ツグミ、
オオバン、キンクロハジロ群、ホシハジロ群、ミコアイサおす1、カワウ、カラスの巣、(上鉾池) オオタカ、
メジロ、シジュウカラ、コゲラ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ダイサギ、コガモ、カルガモ、キンクロハジロ
群、ホシハジロ群、(菌)ロウソクゴケ、チャカイガラタケ、イセノナミマイマイの白くなった貝殻多数、

次回4月14日(木)午前9時30分水資源機構P前、参加費100円・雨天は中止